

農作業コツのコツ

【第13号】

令和6年7月13日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター南砺班
福光農業協同組合 営農部

水管理

干しすぎに注意し、

幼穂形成期以降は飽水管理、

出穂期からは湛水管理を徹底しましょう。

農作業中はこまめな休息と水分補給に努め、熱中症を予防しましょう。

平年より気温が高く、水稻の生育は平年並みからやや早くなっています。
今年も暑い夏が予想されています。高品質米生産に向けては、稲体の活力維持が重要です。
葉色が薄い場合は、追加穂肥を行い適切な穂揃期葉色へ誘導しましょう。また、早生品種は出穂後 20 日間の**湛水管理**を、コシヒカリやてんこもりは出穂期まで**飽水管理**を徹底しましょう。

水稻の生育状況

(移植7月9日、直播7月8日：福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名	田植日		草丈(cm)		株当たり茎数(本)		葉齢(葉)		葉色		幼穂形成期		
	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	
コシヒカリ	5/14	5/13	71.9	71.0	22.4	21.8	12.3	12.0	4.0	4.1	(7/10)	7/10	
てんこもり	5/13	5/8	62.0	62.5	29.8	32.7	13.1	12.9	4.1	4.2	(7/12)	7/13	
密苗	コシヒカリ	5/19	5/15	64.8	68.7	22.5	25.9	11.6	12.1	4.2	4.2	(7/14)	7/13
	てんこもり	5/9	5/9	56.8	61.8	29.8	31.0	13.0	12.7	4.2	4.2	(7/14)	7/14
直播	カルパーコシ	4/28	4/30	68.4	66.2	134	170	11.7	11.2	4.1	4.0	(7/12)	7/14
	鉄コ コシ	5/4	5/2	67.0	63.6	222	175	12.0	11.2	4.4	4.2	(7/14)	7/18
	鉄コ てんこ	4/29	5/1	57.7	55.4	214	209	12.8	12.0	4.3	4.3	(7/16)	7/20

※直播の田植日は播種日、株当たり茎数はm当たり茎数

※コシヒカリ(慣行苗のみ)3筆、直播(加パ-)1筆、他2筆

水稻

1 水管理

昨年は、入水が不十分なほ場で収量が少なくなりました。
降雨に頼らず、しっかりと入水しましょう。

(1) とみちから、五百万石、てんたかく 81

出穂後 20 日間 (7月 18 日出穂は 8月 7 日頃まで) は、田面が露出しないように 2~3 cm の湛水状態を保ち、収穫期まで根の活力を維持しましょう。

(2) コシヒカリ、てんこもり、直播

- ・穂揃期の葉色の確保に向けて、足跡や溝に水が残る状態になったら入水して土壌の湿潤状態を保つ**飽水管理**を徹底しましょう。
- ・てんこもりは、**干しすぎ**による葉色の低下に**注意**しましょう。
- ・コシヒカリで葉色が濃い、または、ほ場が軟らかい場合は**間断かん水**を継続しましょう。

(移植7月17日頃、直播(カルパー)7月19日頃、直播(鉄コ)7月23日頃まで)

2 穂肥施用(肥効調節型基肥体系)

出穂 7 日前に葉色を確認し、葉色が目安より薄い場合は出穂 3 日前までに**追肥**を行い、登熟能力の向上を図りましょう。

○出穂期予想と追肥施用の目安

品種	田植日 播種日	幼穂形成期 () は予想	出穂期予想	追肥が必要な葉色 目安(出穂7日前)	10a 当り施用量 BB 穂肥 35 号
五百万石	5月5日	6月28日	7月19日	4.2 以下	7kg
とみちから	5月6日	6月26日	7月18日	4.5 以下	10kg
てんたかく 81(慣行苗)	5月5日	6月27日	7月18日	4.0 未満	
てんたかく 81(密苗)	5月4日	6月26日	7月17日		
コシヒカリ(慣行苗)	5月14日	(7月10日)	8月1日	4.0 以下	7kg
コシヒカリ(密苗)	5月19日	(7月14日)	8月5日		
てんこもり(慣行苗)	5月13日	(7月12日)	8月3日	4.2 以下	11kg
てんこもり(密苗)	5月9日	(7月14日)	8月5日		
加パ-コティング コシ	4月28日	(7月12日)	8月2日	4.0 以下	7kg
鉄コティング コシ	5月4日	(7月14日)	8月4日		
鉄コティング てんこ	4月29日	(7月16日)	8月7日	4.2 以下	11kg

※てんこもりで現在の葉色が 4.0 を下回る場合は、直ちに BB 穂肥 35 号を 10 a 当たり 11 kg 程度施用しましょう。

カメムシ類を抑えるため、雑草の穂が出ないように基本防除までこまめに草刈りを行いましょ。

3 病害虫防除

(1) 基本防除

適期に2回の**基本防除**を徹底し、いもち病やカメムシ類による斑点米の発生を防ぎましょ。

品種	防除時期の目安			薬剤、散布漏	
				液剤【無人航空機】	粉剤
五百万石 とみちから てんたかく81	1回目	穂が全体の90%出た頃	7月21日 ～23日	ビームエイトスタークルゾル 8倍、0.8ℓ/10a	ビームスタークル粉剤5DL 4kg/10a
	2回目	1回目の1週間後	7月28日 ～30日	キラップフロアブル 8倍、0.8ℓ/10a	キラップ粉剤DL 4kg/10a
コシヒカリ てんこもり カルパーコシ 鉄コ コシ	1回目	コシ：穂が全体の40～50%出た頃 てんこもり・直播：出穂直前	8月1日 ～8月4日	ビームエイトスタークルゾル 8倍、0.8ℓ/10a	ビームスタークル粉剤5DL 4kg/10a
	2回目	1回目の1週間後	8月8日 ～11日	キラップフロアブル 8倍、0.8ℓ/10a	キラップ粉剤DL 4kg/10a

(注) ①必ず出穂状況を確認して防除を行いましょ。

②1回目防除と2回目防除の間隔は7日間とし、10日以上空けないようにしましょ。

(2) 随時防除

- ①**葉いもち** 病斑が見られたら直ちに防除を行いましょ（特に葉色が濃いほ場は注意）。
- ②**紋枯病** 前年に多発したほ場や茎数が過剰なほ場では発生が懸念されます。穂ばらみ期（コシヒカリ出穂10日前頃、てんこもり出穂7日前頃）に病斑が見られたら防除しましょ。
- ③**稲こうじ病** 常発地では、**出穂10日前までに**薬剤を散布しましょ。

※詳しくは、「営農とくらし」P54～55を参照してください。

大豆

1 培土

培土は晴れ間を見て、開花期までに確実に2回行いましょ。

2 雑草防除

雑草の発生が多い場合は、雑草や大豆の状況に応じて、遅れずに除草剤を使用しましょ。

対象雑草	除草剤名	使用時期	使用回数	10a 当たり散布量
イネ科雑草	ポルトフロアブル	イネ科雑草3～10葉期 ただし、収穫30日前まで	2回	薬液 200～300ml ／希釈水量 100ℓ
畑地1年雑草 (イネ科を除く)	大豆バサグラン液剤	大豆2葉期～ 開花前 ただし、収穫45日前まで	1回	薬液 100～150ml ／希釈水量 100ℓ
畑地1年生雑草 ※吊り下げノズル等 を使用し、大豆にかか らないようにする	ザクサ液剤	雑草生育期（うね間処理）	3回以内	薬液 300～500ml ／希釈水量 100～150ℓ
	バスタ液剤	ただし、収穫28日前まで		
	ダイロンゾル	雑草生育期（大豆5葉期 以降：うね間処理） ただし、収穫30日前まで	1回	薬液 100～200ml ／希釈水量 100ℓ

ザクサ液剤またはバスタ液剤との
混用で抑草期間が長くなります

※詳しくは、「営農とくらし」P92～93を参照してください。

3 うね間かん水

開花期頃から**9月上旬までの水不足は、落花や落莢を招き、青立ち(莢先熟)**につながります。開花期頃から晴天が3日以上続くと見込まれる場合は、積極的に**うね間かん水**を行いましょ。

4 病害虫防除

確実に**基本防除**を実施し、紫斑病やカメムシ類の防除を徹底しましょ。

防除区分	防除時期の目安			薬剤、10a 当り散布量	
				液剤【無人航空機】	粉剤
ウコンノメイガ (随時防除)	7月下旬～8月初め 株当たり6個以上の葉巻きが発生した ら直ちに			プレバソフフロアブル5 16倍、0.8ℓ	ダントツH粉剤DL 4kg
基本防除	1回目	莢が伸び きった頃	8月10日 ～15日頃	プランダム乳剤 25 24倍、 スミチオン乳剤 8倍、0.8ℓ	Zホルダー粉剤DL※ 3kg スミチオン粉剤3DL 4kg
	2回目	莢に子実が つまった頃	8月25日 ～30日頃	アミスター20フロアブル 16倍、 キラップフロアブル 16倍、0.8ℓ	トライトレボン粉剤DL 3kg

※出穂している水稻にかかるると薬害が発生するので、飛散防止に努めましょ。